

第23号

発行 丸橋歯科「良い歯の会」
発行所 群馬県高崎市栄町21-1
TEL 027-323-9524
FAX 027-322-3139
http://www.maruhashi.com/
E-mail:maruhashi.s@cb.wakwak.com

医・農・智

知識ではない 智慧
今を憂する 勇氣
消すことのない 希望
意味が生を支えるとき
育み合う いのちのダイナミズム
いのちの感性が 甦るとき
自分という確信が育つ

いのちを 育てる
い・の・ち

「良い歯の会」機関紙

いのち

いのちの保守宣言

丸橋 賢

文化の形が崩れる程度
いのちの形も崩れる

たとえば私は日本人の茶髪を否定するが、多くの人はそれを古いとか頑なだとか感ずるらしい。髪の色など自由でよいではないかといふ寛容さを、最近の人は優しいとか人権主義的だとか考えるらしい。それは全く本質を見失った見方だと思ふ。茶髪の人は、頭の内容も茶髪化しており、服装や言い、言葉など全ての点で日本の伝統的な美意識を逸脱している。もちろん食生活も崩れ、その結果形や質の全てで、日本人の体とは別な生物と化している。

さらに、茶髪を容認している家庭もそれなりにあり、それなりの食生活となり、家族も相応の体となる。そのような人や家族を容認する社会も、当然、同じ傾向の価値観を共有し、同じ傾向の食となり、同じような体となる。とすれば、限定した部分のみを見て、茶髪を容認するのは間違っていることになる。総合的評価から見た見解を守る必要がある、というのが私の考えである。

全体と部分を透視し、統合して評価する目から見れば、当然、私のように見えるのだと思ふのだが、残念ながら近年、部分や表面のみしか見ない傾向が強まり、全体や深部、質を同時に見る力が衰退してしまつたと思ふ。病んだ口唇をのぞくと

私の目には
病んだ社会が重なるように見える
「癒しの思想」(一九八四年)の裏表紙に、私はそこ記したが、これは一貫した私の視座であり、それが全人医学観の基本を形成している。

近年の、特に「学問のすゝめ」に象徴される浅薄な美学主義的日本の技術偏重傾向は、全体や本質を見抜く視力をますます失わせたと、私は考えている。日本の第一次戦後派が見据えようとしていた抽象や本質、論理などを見る目を、もう一度復権したものである。第一次戦後派世代の「荒地派」の詩人、鮎川信夫や田村隆一などの世界をわが現代人がいまだのくらくらしているのである。
「橋上の人」(鮎川信夫)より
橋上の人よ、あなたは秘密にみちた部屋や親しい者のまなざしや書籍や窓やベンをすてて、いくつもの通路をぬけ、いくつもの町をすぎ、いつか遠く橋のうえにやってくる。
いま、あなたは嘔気をこらえ、水晶、花、貝殻が、世界の空に炸裂する真昼の花火を夢みている。

民族はその食以上の能力はない

世界の国々を見て、民族はその食以上の能力はない、というのが私の感想である。食がおいしく、美しい国は、お皿などの陶器、金細工などの工芸品、織物などの全てが総体的に美しく、人間性も奥行きがある。建物や街並みも美しい。それ

に加えて言いたいのは、人々の体が人間の原形から崩れていないという点である。
反対に、アメリカ、ブラジルなどの新興国の料理は、ただ肉を焼くだけで、他の全ての工芸、行い、礼儀なども含めて粗雑である。レベルの高い料理をするのに、高度な配慮、技術やコツ、それを伝える家族や社会などの伝統がしつかりしていなければならぬから、それを伝え、守っている国では、他の点でも能力を高いレベルに維持していると考えられる。食も含め、伝統は一朝一夕にくることはできず、それを守っていくのには崩れてはいけない事が沢山ある。ヨーロッパを見ればわかる。自分の家を建てたり直したりするのにも自由にレンガの色を選ぶこともできず、自分の庭の木を切つても罰せられる。法律や習慣によって禁止や制限をされていることが沢山ある。そして、美意識、暮らし、食などの全てが守られているのである。それらを守る責任を果たしてはじめて、大きな人権が与えられるのである。
二つとして守られた文化の下で、変わることもない体や精神も維持される。

人間が人間らしく生き続けるためには、その基本として、人間の生物学的生存条件が崩れずに保守されることが不可欠である。この条件を守り続ける頑なな思想、伝統、文化が必要で、それが私の強く主張したい、いのちの保守主義である。

真の保守主義のない日本

日本では保守という言葉に對する嫌悪感が強いが、その理由は二つあると思ふ。その第一は本質的な問題であるが、日本には本質的な価値ある保守主義つまり人々が、それを守つた方が有利だと感ぜら

れる精神的基盤が無かつたのではないかとと思われる点である。丸山真男は「日本の思想」の中で、「自己を歴史的に位置づけるような中核あるいは座標軸に当たる思想的伝統はわが国には形成されなかつた」と述べている。思想が論争や対決の継続の上に蓄積されるという原理が、我が国では働かなかつたためだと言っている。

そこで日本の保守主義の主張を研究してみると、如何なる政権の下においても、国民の間に天皇信仰が何らかの程度で存在していた(戦後を疑う・清水幾太郎)とし、天皇を中心に日本民族の統一を保つのが日本民族の合意であった、とする意見が中心を占めると思ふ。

しかし天皇への批判を封じられた無条件の信仰によって、何となく統一を保つてきたとしたら、そこに人々が守るべき価値の実体は見えない。それよりも、守るべきものを守る人々の明確な顔(主体)が見えない。
清水幾太郎は、教育とは、年少の人間に民族の文化的遺産を伝達する、保守的な仕事である、と言いつつ、その教育観の根本は正しいと思ふが、保守すべき価値ある遺産の少ない日本の体制は、敗戦とともに開放された民衆が背を向けられ、それを伝習すべき教育とともに崩れたのではないかと、私は考える。天皇制を保守し、鬼畜米英を叫んだ日本の保守勢力は今、全く無原則に米英追従に転向している。守るべき理念のない保守の姿を無惨に見せつけられる。利権は野合し、理念は対立するが、日本の保守勢力とは利権を中心に固く野合した勢力である実体が、日本において保守という言葉が嫌われる第二の理由であろう。利権集団は、金のためなら自然も文化も、民族の存立基盤も簡単に売り渡す。残念ながら日本には、真の保



イタリアのレストランで。美しく、美しく、お皿も素晴らしい。伝統を守るヨーロッパは生きのびると思ふ。

容認してはいけないこと

利権は保守するが、国民が永く健全に生きていける条件を保証する枠組みを厳しく保守しようとする気のないエセ保守勢力が存在しない日本では、枠組みを踏みはずしてはいけないと言ふ人がいなくなつてしまった。その結果、食事は何でも好き嫌いなく正しい姿勢でよく噛んで、残さず食べなさい、歩きながら食べるのはお行儀悪いからダメ、茶髪などやめて日本民族の良さに自負を持ちなさい、学校へはきちんとした服装で行きなさい、などという文化の規範が全てと言ってよいほど壊されてしまった。狭い部分で見れば、茶髪もラフな服装で登校するのでも、それ自体では大きな意味が無いようにも見える。しかしそれは違ふ。茶髪の選手が日本代表チームとして国際試合に出ても誰もダメと言わない現状は更に問題が大きい。その基本で、日本の価値観や美意識そのものが壊れているのだ。そのような文化破壊が、自由の擁護のように語られるのはもう救い難い。美意識や価値観が崩れると、食やライフスタイルなどの全てが崩れる。この結果、人間としての形が崩れ、精神も機能も崩れた日本人が周囲に溢れるようになってしまった。これは世界的に見て、日本に突出した現象であることを知って欲しい。マハティール氏から日本人は誇りを取り戻せと言われる前に、私たちはいのちの保守宣言をしなければならなかつたと思ふ。

丸橋全人歯科の本

丸橋 賢 三部作
全人歯科革命
「免疫革命」の著者 安部徹氏(免疫学者)推薦
本書は歯科だけでなく医療の革命である!

全人的治療への道
病みたくないから生きたい
体へ! 歯科を出発点に全人医学の驚くべき理論・思想の全貌を説き明かす

癒しの思想
「天声人語」でも紹介された丸橋哲学の神髄が復刊
いのちへの感性、複眼の視座の原点とは?

インプラントの実際
実際の治療を受けた患者さんの手記や治療例等について豊富な写真を使って解説した実用書
辻本 仁志著

歯槽膿漏
ほとんどは治る防げる
難治歯槽膿漏も生活改善で克服できる。六万部のロングセラール橋 賢著

歯良い治療の見分け方
ムシバ、入れ歯、咬合、歯周病、矯正、インプラントの問題点を解明
丸橋 賢著

顎偏位症の治療と予防
よくわかる
頭痛・肩こり・腰痛など苦痛の原因は、咬み合わせ治療で解決
丸橋 賢著

丸橋 賢の絵本
近日発売予定
エリカのお花ばたけ
1,470円
幼いときのきょうだいの目に映った人間たちの姿。
丸橋賢作/下田智美 絵



癒しの思想
丸橋賢
病む社会を透視する
病むいのちを統合して
病む自然。それを一貫した全人的視点は一貫している

新しくなった 丸橋全人歯科・ファミリー歯科

一般歯科・咬合治療担当医
日本顎咬合学会認定医
亀井 琢正

二〇〇四年五月六日をもって丸橋歯科クリニックは丸橋全人歯科に生まれ変わりました。加えて丸橋歯科緑町診療所は健康保険取り扱いの丸橋ファミリー歯科として新しくスタートしました。丸橋全人歯科の全人とは全人医療を指します。我々は歯や口腔内と全身ひいては生活や精神の関係をこれらの健康を視野に入れた歯科医療を目指しています。当院の治療方針の根幹を明確に示すため今回栄町移転に伴い、丸橋全人歯科と改め、新しくスタートしました。

一方、旧丸橋歯科緑町診療所は丸橋ファミリー歯科として健康保険を取り扱い、親しみやすい形態としました。保険治療には治療法や、使用できる歯科材料に制約があり、細かく治療内容が規定されています。したがって高度に様々な技術を用いた治療を必要とする方や遠方の方にはやや不向きではあります。丸橋ファミリー歯科では保険治療のできる範囲で的

確にムシバや根管治療、歯周病治療を行い、また必要に応じてインプラント治療も行う体制をとっています。丸橋ファミリー歯科はムシバや少数の欠損歯、中等度までの歯周病でお悩みの方にお勧めできる内容です。また定期的に口腔内を検査する家族のホームドクターとしての役割も担っています。

新しくなった丸橋全人歯科では全人の視野に立った様々な設備や治療システムが組み込まれています。初診時には院長を中心とし、口腔外科、矯正、咬合など各分野の経験のあるスタッフが患者さんの希望を含めた治療方針を組み立てることが出来ます。一口に歯科と言っても、その治療の分野は多岐にわたります。全人歯科ではインプラントや矯正、咬合、審美など各方面の学会参加、発表を活躍に行い、また専門分野の認定医も常時在籍しています。必要に応じて国内でも数少ない歯科用CTによる三

主観的思考を得意とするヒッタイトの側に分があったことは疑いがないといふ。しかし現代人の誰もがラメセス二世の偉業を誇り、妄想的思考、事実の歪曲を笑うことは出来ない。わが六十年前のこと、日本の軍部による大本営発表はどうか。カデシユの戦いが行われたシリアの隣、イラクで現在進行中の戦争はどうか。全くの身ひいき、御都合主義的報道が連綿と続き、そして未だにど

最終的には患者さんの体自身が治していくのです。患者さん自身の体、細胞が治る力が無ければ結果は得られません。患者さん自身が治っていく体にしていくことが実際の治療の半分を占めているといつても良いでしょう。治る体をつくり、本当の健康を獲得する知恵を伝えていく場が「良い歯の会」です。初めはほとんど噛めない状態で来院された患者さんでも当院の治療と生活習慣の改善で何でも噛めるだけでなくそれ以上に本当の健康を取り戻した人達がたくさんいらっしゃいます。この様に全人歯科スタッフは多方面にわたる歯科医療を統合し治していく技術と、それを健康な状態で維持し予防していく、全身を見つめた治療のノウハウがあるのです。

また丸橋ファミリー歯科では家族皆様のホームドクターとしてより身近に親しみやすい歯科医院を目指しています。両医院ともよろしくお願いたします。

はたくさんの上言がある。シリア遠征に連れ出されれば、着物もサングラスもなくなる。山に登られれば三日に一回、それも悪臭のする塩水だ。病気になる。敵は攻めて来る。家族には会えず、帰国できるとしても消耗してボロボロになった後、脱走すれば家族までも現場の一兵卒が、一番知っている。今も昔もコマンドーインチャー



ルクソール東岸、カルナック神殿

エジプトのルクソール、ナイル川東岸に、カルナック神殿という有名な遺跡がある。壁一面に戦争をモチーフにしたレリーフがほとんどこされた一画を見た。紀元前二七五年前、現在のトルコに本拠を置いていた、ヒッタイト帝国との戦いの模様を浮き彫りにしている。記録に残る世界最古の戦争、カデシユの戦いである。現シリア、オロンテス川沿いのカデシユ近郊で、ヒ

ルクソールより 海外取材報告～エジプト～

ヒトは歴史から学ぶということはない、ということを経験が物語る。古代エジプトの書記官、ネフマレネハトは書いてある。兵隊に

はたくさんの上言がある。シリア遠征に連れ出されれば、着物もサングラスもなくなる。山に登られれば三日に一回、それも悪臭のする塩水だ。病気になる。敵は攻めて来る。家族には会えず、帰国できるとしても消耗してボロボロになった後、脱走すれば家族までも現場の一兵卒が、一番知っている。今も昔もコマンドーインチャー



カイロにて

はたくさんの上言がある。シリア遠征に連れ出されれば、着物もサングラスもなくなる。山に登られれば三日に一回、それも悪臭のする塩水だ。病気になる。敵は攻めて来る。家族には会えず、帰国できるとしても消耗してボロボロになった後、脱走すれば家族までも現場の一兵卒が、一番知っている。今も昔もコマンドーインチャー

売店も充実しました

「良い歯の会」では、講演のなかでご紹介させていただいた食品を中心に、実際に参加者の皆様にはんもの食品を手にとってご家庭でも味わっていただくため、販売コーナーを設けています。以前の

「良い歯の会」では、講演のなかでご紹介させていただいた食品を中心に、実際に参加者の皆様にはんもの食品を手にとってご家庭でも味わっていただくため、販売コーナーを設けています。以前の

難症例の患者さん向けに

丸橋全人歯科に県内で初めて歯科用CT撮影装置が導入されました。重症の患者さんには増骨手術などを駆使したインプラント手術を行っています。この際、隣接する神経や副鼻腔の大きさを三次元的に理解する必要があります。咬合治療や矯正治療にも活用しています。

丸橋全人歯科に県内で初めて歯科用CT撮影装置が導入されました。重症の患者さんには増骨手術などを駆使したインプラント手術を行っています。この際、隣接する神経や副鼻腔の大きさを三次元的に理解する必要があります。咬合治療や矯正治療にも活用しています。

「良い歯の会」にご参加下さい

ご案内
日時 毎月第2土曜日 午後1時30分～5時
場所 丸橋全人歯科3階研修室
内容 4回連続参加で1シリーズ

内容	開催月
環境と人間の生き方を考える	1月、5月、9月
ムシバ予防を中心に家族を考える	2月、6月、10月
歯周病と生活習慣病を克服しよう	3月、7月、11月
退化病と闘う	4月、8月、12月

定員 60人(入場無料)
ご家族、お友達などお誘い合わせの上、ご参加下さい。その他、試食会(本物食品と市販食品の食べ比べやおすすめメニュー紹介等)も行っています。http://www.maruhashi.com/
お電話でご予約下さい。☎ 027-323-9524
毎月第2土曜日開催が原則ですが、祝日・夏季休暇などに重なる場合は第1か第3土曜日に変更となります。詳しくはお問い合わせ下さい。
各グループなどで、講演のご希望があればご連絡下さい。

盛大に祝賀会

丸橋全人歯科の落成と丸橋ファミリー歯科の開院を記念した祝賀会が五月十六日、高崎サンパレスで盛大に開かれました。勇壮な和太鼓演奏で幕を開けた祝賀会。発足当初から、長年に亘って支えて下さった、多くの皆様にもお越し頂き、有意義な時を持つことができて感謝申し上げます。

丸橋全人歯科の落成と丸橋ファミリー歯科の開院を記念した祝賀会が五月十六日、高崎サンパレスで盛大に開かれました。勇壮な和太鼓演奏で幕を開けた祝賀会。発足当初から、長年に亘って支えて下さった、多くの皆様にもお越し頂き、有意義な時を持つことができて感謝申し上げます。

ヒポクラテスの旗の下

細分化され、いのちの全体像と本質を見失いやすい現代の傾向に流されず、私たちは次の点を治療理念とした本物の歯科を目指しています。

全体と部分、形と質、生活環境などの全てを構造的に把握して診断し、生命力の向上を図った治療や指導を行う。

ヒポクラテスの誓いに沿って、患者さんの利益に徹した方針をとる。

ヒポクラテスの旗にはこのような私たちの理想が託されています。

二〇〇四年三月五日(八日)米國・ハワイで開かれた第六回国際口腔インプラント学会において、丸橋全人歯科口腔外科部長の辻本仁志先生が、「上顎洞粘膜を剥離挙上するソケットリフト変法」(上顎臼歯部骨量が少ない例へのインプラント植立法)と題して発表しました。